

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	地域審議会事業		コード	06-01-10-03
			担当課・係	企画課 企画振興係
			担当者	青木弘行
			電話	64-1871
事業実施期間	平成17年3月22日から平成23年3月31日まで			
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり		
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営		
	小項目(施策)	その他事務管理		

事業について	
目的 (何のために)	新市まちづくり計画の変更、執行状況に関する事項について、市長の諮問に応じ審議・答申を行う
対象 (誰・何を対象に)	3地域で行政サービスを受ける住民と3地域に設置された地域審議会委員の活動
内容	備前地域・日生地域では審議会の開催はなく、吉永地域で1回審議会が開催された。会議開催にあたり委員に報酬を支給した

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
開催回数(備前地域)	1回	0回	
開催回数(日生地域)	1回	0回	
開催回数(吉永地域)	1回	1回	
審議答申件数	1件	1件	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	189	間接補助金等		直接事業費	410	間接補助金等	
	人件費	1,790	委託費負担		人件費	619	委託費負担	
	合計	1,979	市債	1,979	合計	1,029	市債	1,029
			一般財源等				一般財源等	0

必要人員	0.15人	0.06人	
結果指標	結果指標名	開催回数	開催回数
	結果指標量	1	1
	単位	回	回
	対前年比	—	100.00%
	活動にかかるコスト	1,979,000円	1,029,000円
	単位当たりコスト	1,979,000円	1,029,000円
	結果指標名	審議答申件数	審議答申件数
	結果指標量	1	1
	単位	件	件
	対前年比	—	100.00%
	活動にかかるコスト	1,979,000円	1,029,000円
	単位当たりコスト	1,979,000円	1,029,000円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	吉永地域におけるふるさとづくり基金の活用方法		
成果指標名	審議答申件数	式又は説明	諮問に応じて審議・答申した件数を計測する
	17年度	18年度	
成果指標量	1	1	
対前年比	—	100.00%	0.00%
到達目標値	0	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:	妥当性評価<A~E>	B	
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	合併前の旧3地域の実情に応じた施策の実施に対して、より決め細やかに住民の意向を反映するため、本事業の目的は妥当である。	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である			
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である				
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	C	
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	経費削減については、委員報酬の削減を検討していくしかない。	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい			
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>			C
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識		
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			
	平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している			<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了
目標値	結果指標量	1	結果指標量	0	
総合評価	本年度は吉永地域でふるさとづくり基金の活用について審議をされたのみであるが、今後も新市まちづくり計画の計画実施、執行状況を把握していく必要がある。			評価区分<A~E>	C
平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する				
平成20年度以降の改善事項					
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
有効性	進行・執行状況の把握と公表	毎年度	旧地域住民の満足度		

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。